

美術館を利用した鑑賞指導の工夫

－ ワークシートの作成を通して －

目 次

I	テーマ設定の理由	41
II	研究の構想	42
III	研究内容	43
1	鑑賞の方向性	43
(1)	鑑賞指導のねらい	43
(2)	鑑賞指導の必要性	44
①	鑑賞指導の現状	44
②	生徒の実態	44
2	鑑賞の場としての美術館の可能性	46
(1)	鑑賞の発達段階	46
①	発達の5段階	46
②	教師の役割	47
(2)	美術館における鑑賞の実例	47
3	ワークシート	49
(1)	ワークシートの実際	49
①	ワークシートの分類	49
②	ワークシートの実例	50
(2)	取り上げる展覧会	51
(3)	ワークシート作成の手順	51
(4)	ワークシート	52
IV	指導の実際	58
1	事前指導	58
2	展覧会鑑賞	59
(1)	要 項	59
(2)	鑑賞の様子	59
V	研究のまとめ	60

宜野湾市立真志喜中学校

前 田 紫

美術館を利用した鑑賞指導の工夫

— ワークシートの作成を通して —

宜野湾市立真志喜中学校 教諭 前 田 紫

I テーマ設定の理由

情報化社会と言われて久しい。溢れる情報、目まぐるしく変動する社会の中にながら、自ら意欲的に情報を選び、学び取っていく能力を育てることは難しい。あなたの好きな画家は？と問えば、生徒の顔はくもり、できれば聞いてくれるなという表情をする。それでも知れたそうにすると決まって出てくるピカソ、いわさきちひろ、山下清・・・。明らかに悲しいほどに少ない鑑賞経験から苦しまぎれの答えが返ってくる。作品にはそれを制作した人がおり、その人を取り巻く社会背景の中どのような思いで表現したのか、という視点を与えることは、生徒の中の美術という狭い概念を少しでも押し広げ、主体的な学習へと展開していくきっかけとなるであろうと思い、授業において、作者の人間性にふれるエピソードを交えての鑑賞指導を試みてきた。生徒の反応は思ったより良く、もっと知りたい、実物を見てみたいとの思いがつのる様子であった。美術と言えば、描く、造る、という表現に関わる技法・技術面の指導に教師の視点もいきがちであったが、新学習指導要領においては鑑賞教育を一層重視し、その充実をはかることが強調されている。鑑賞指導のねらいは、美術の目標に示されている「創造の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育て豊かな情操を養う」ことにある。そして、美術作品などのよさや美しさを味わう美的体験をとおして、作者の個性などに気付き、それを美として価値づけていく鑑賞の活動は、感性と深くかかわっており極めて、個性的、主体的な活動であると言われている。教科書に、身近にある美術館に関心を持ち実物をよい環境で鑑賞することの意義と美術館のはたらきや役割を理解する、作品鑑賞の態度やマナーを身につける、という目標で「美術館に行こう」という単元がある。週5日制に対応し、生徒ひとりひとりの自己教育力を養うためにも、地域の社会教育施設を積極的に利用する鑑賞教育を試みる必要を感じる。

沖縄県は、沖縄戦終結50周年事業として、沖縄の戦後美術の流れを検証する美術展を平成7年の夏休みに開催する。同展は平成12年に開館する県立美術館建設事業の一環であり、学校教育と美術館教育と連携をはかる初めての試みである。鑑賞教育に大きく担わされたもう一つの課題である、地域文化の理解、社会との関わりから育成される他者への理解、という観点から、生徒に身近な同展を題材とし、美術館での主体的な鑑賞へと生徒を導くひとつの試みとして、自作のワークシートを活用し単元（美術館に行こう）のフレーズどおり生徒に軽やかな一歩を踏み出させたい、との思いからこのテーマを設定した。

II 研究の構想

美術科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な創造活動の能力を伸ばすとともに、創造の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育て豊かな情操を養う。

鑑賞の目標

自然や造形作品を鑑賞し、そのよさや美しさなどを深く味わい、美術と人間とのかかわりに関心を持ち、主体的に鑑賞する能力と態度を育てる。

研究テーマ

美術館を利用した鑑賞指導の工夫

－ワークシートの作成を通して－

研究仮説

- 1 美術館での鑑賞において、教師が作成したワークシートを活用することにより、鑑賞能力の発達を促すことができるであろう。
- 2 学校教育と美術館教育の連携をはかることにより、美術館が生徒にとっての鑑賞の場となりえるであろう。

研究内容

鑑賞教育の研究

美術館教育の研究

ワークシートの研究

ワークシートの作成

事前指導

展覧会鑑賞

事後指導

研究のまとめ

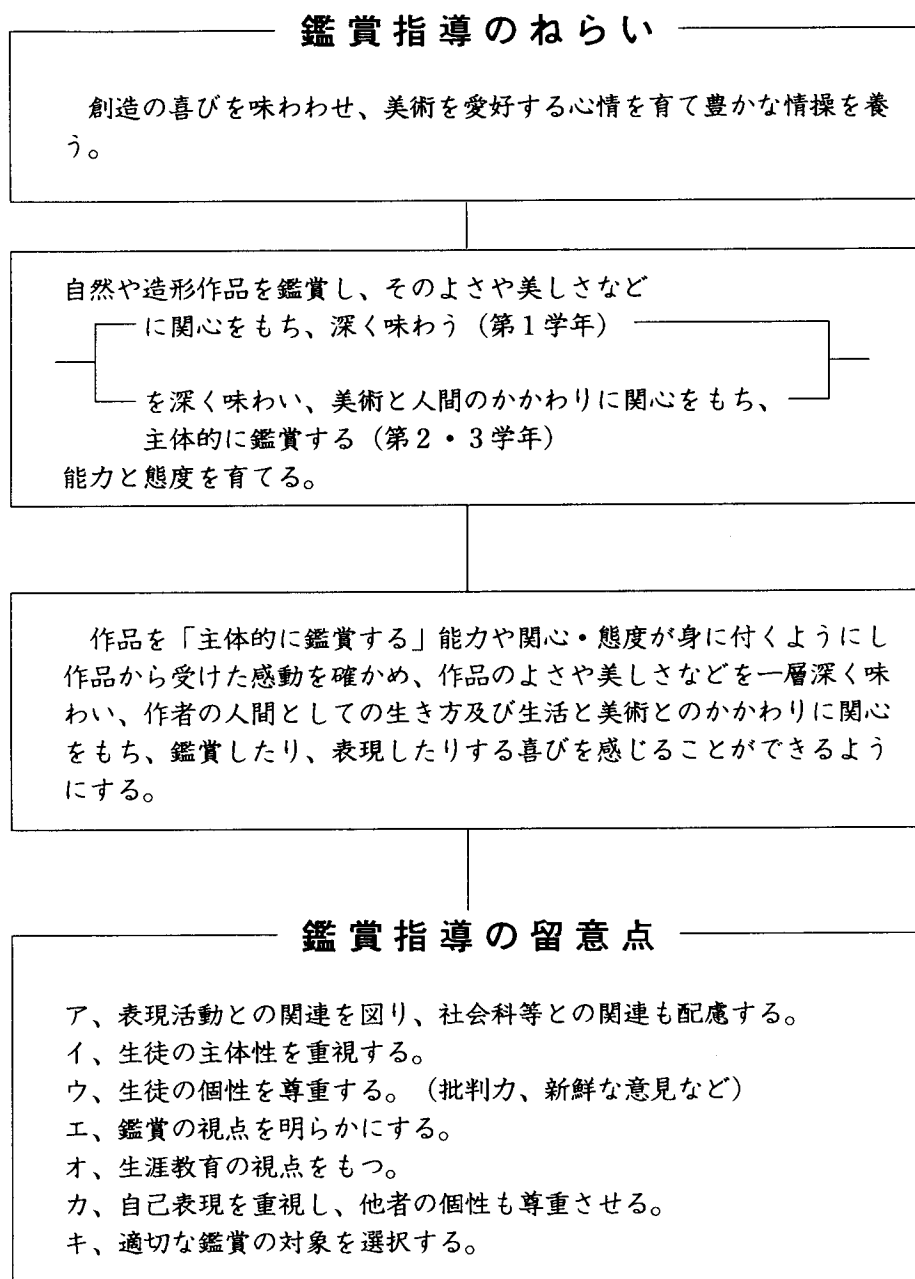
検証

III 研究内容

1 鑑賞の方向性

(1) 鑑賞指導のねらい

鑑賞指導のねらいを明らかにし、具体的に指導を展開していくうえでの留意点をあげることで、本研究の指針としたい。



(2) 鑑賞指導の必要性

① 鑑賞指導の現状

学校における美術の鑑賞指導は、学習指導要領において重視され始めているにも関わらず、学校現場ではまだまだ体系化されておらず、個々の教師の方向性にまかされた状態である。ややもすると、中学生として過ごす3年間の美術教育の中で、教科書に取り上げた数ページをさりとて見ることで観ることを終える生徒もいることが現状のようである。もちろん、ひとつひとつの課題におけるお互いの作品の鑑賞、また優れた友人の作品を掲示や教師の批評を交えた形式での鑑賞は日々行なわれているはずであるが、鑑賞指導のねらいを達成する内容とはいえない。

今までの学校という公的教育機関での鑑賞指導の問題点は、造形と鑑賞の比重のバランスがあまりに造形に偏っていたことにあると思われる。

② 生徒の実態

テーマ設定理由の冒頭でふれたように、生徒は、私たち教師いや大人が、まだまだ鑑賞のもつ本来の意味をつかみきれぬように、彼らもまた鑑賞という体験すらなくさまよっている。学校教育だけでなく、家庭や地域、彼らを取り巻く環境の中で、美的体験をもつということは、とても少ない状況である。ギャラリーや展覧会などに大人と足を運んだ経験がある子は非常に少なく、これは沖縄県に美術館がなかったことにも、その原因の一端がある。そんな状況の中で、商品化された美術作品や情報の中でおもしろおかしく伝えられるものから鑑賞の本質にふれていくことは難しい。

昨年、私の行なった鑑賞の授業と、生徒の感想という形で、その実態を把握してみる。

「ピカソの生涯とその作品の変遷」という題材で3学年の全クラスに鑑賞の授業を行なった。ピカソは、知っている画家は？という質問でどのクラスからも共通してあげられた名前であり、何らかの形でその名前なり作品なりにふれたことのある生徒も多い。そういった意味では、身近に感じているであろうし、また逆に知っているようでその人物また作品については以外に知らないというアンバランスから、題材として適していた。

人間としてのピカソにふれながら、その生涯をひとつおり美術史の流れの中で理解せさせようと、マンガの形でピカソの生涯を読ませた。作品は画集ではあるが、古いものから新しいものへと時代ごとに教師の解説を加え、ときに生徒に批評させたりしながら観せるという形で授業を展開した。「ゲルニカ」などのキュビックな絵、生徒の言葉を借りれば、わけのわからぬ絵を思い浮べる彼らは、時代の流れと絵の変遷にとっても興味を示した。鑑賞の授業に限らず、課題をひとつ終えるごとに生徒それぞれが自分の感じ取ったものを文章化させることを試みているので、次にこの授業を通しての生徒の感想文の一部を提示する。

Mさん——ピカソの描いた絵は何か気持ち悪いと今まで思っていたけど、いろいろな意味があるのだとわかって少しは好きになった。授業でやったコラージュをピカソがしていたとは初めて知った。「ゲルニカ」という作品は、戦争の恐怖みたいなものを描いているような気がしてとても怖い。

Iくん——ピカソは自分の性格とその時の心境で自分の生き方や絵を変えていった。

Yさん——青の時代の絵が私は好きだ。青という色はいろいろなトーンがあるけど、ピカソの使った青は深い悲しみをたたえた青だったのかと思う。

Uさん——ピカソさんは絵をかくために生まれてきたような人だと思う。私たちは、ふだん学校に来て勉強して、塾に行って、帰ってきて寝るという平凡な暮らしをしているけど、ピカソさんは学校に行くよりも絵を描いているほうがいいと言って、自由に暮らしてその生活のなかで、絵に関するいろんな知識を身につけることができ、すごくうらやましいとおもった。

Kくん——僕は絵を描くのはあまり好きじゃないから、なんでたくさんの絵を描くのかなあと思った。すばらしいのかその逆なのか、僕にはあまりわかりません。本にピカソが絵に熱中しているときは神か悪魔だと書いてあったが、僕は悪魔の方だったと思う。なぜなら絵が、ぶきみだからだ。

Gさん——私はなぜだか、小さいころから有名な画家の名前というとピカソの名前しかわかりませんでした。悲しいときには悲しい絵、幸せなときには幸せにあふれた絵、とっても素直に絵を描いている人だと思った。

Dさん——中学生になって、テレビや美術館などでピカソの絵を見ました。美術館ではたぶん「月」のようなタイトルがついていて、本物の月とはすごく異なっていて噂どおりの人だなと思いました。今日の授業を通して新しいころみも含めて自分の思ったことを直接一枚の空間に表したということが解りました。私としては「青の時代」のときの、もの悲しい色が好きです。

Kさん——私が生まれるたった5年前まで生きていたことを先生の話から知ってびっくりしました。だいたいすごく有名な画家は昔の人ばかりだと思ってたからピカソってすごいなあと思いました。

Nくん——初めの頃のピカソは観察しているものそのまま美しく描いていたが、後半は「本物らしさへのこだわり」を捨て、自分の新しい絵を描いていったところがすごいと思う。自分が初めに描いた絵の雰囲気はなかなか捨てられないものだと思うけど、初めと後半の絵の変わりようにはびっくりした。ピカソの本物を見たいと思った。

この感想文からもわかるように、生徒は新鮮な驚きと興味を示した。また数少ない鑑賞経験や、自分の環境に作家の人生を置き換えることなどで、なんとか、その作品の背景に見え隠れするものを理解しようと努力している様子が感じ取れる。

自分なりの視点、疑問は次の鑑賞への大きなてだてとなっていく。

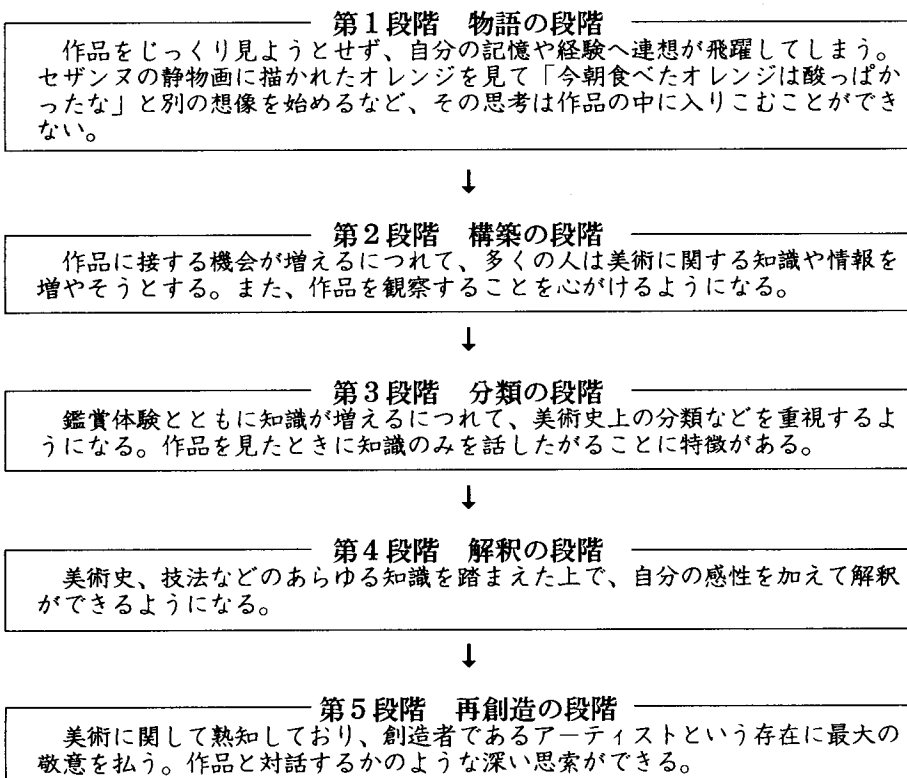
2の①でふれる鑑賞の発達段階でまだまだ低レベルに位置する状態であるが、それゆえの鑑賞教育の可能性も、対象として秘めているとも考えられる。

2 鑑賞の場としての美術館の可能性

(1) 鑑賞の発達段階

① 発達の5段階

ニューヨーク近代美術館（MOMA）の教育プログラム責任者アメリカ・アレナス女史の理論によると、鑑賞能力には、次の5つの発達段階がある。



これは、鑑賞という言葉から、まだ漠然としたイメージしか持ちえない者に、その理解を深めさせる説明として非常にわかりやすい。

1の②に書いた生徒の実態は、これによれば明らかに第1段階にあり、美的体験における家庭環境などに恵まれた生徒であっても、第2、第3段階にいる子は少ないと思われる。子供のみならず、大人に置き換えても、この状況が変わらないことは、誰もが認めることであろう。

② 教師の役割

この理論を土台にして、MOMAでは市内の学校に3年間の調査を行なっている。次にあげる4つのパターンの鑑賞能力の伸びの変化に注目したい。

ア、先生もMOMAの講義を受けず、生徒にも教えないクラス

イ、先生がMOMAで講義を受け、生徒には教えないクラス

ウ、先生がMOMAで講義を受け、生徒に教えたクラス

エ、MOMAのスタッフが、生徒に直接教えたクラス

1年目、エの生徒のみ鑑賞能力を高めた。また、教師についてもイよりウが鑑賞能力が高まった。3年目現在、ウが最も高まった。この結果から、生徒の実態が一番よく知る教師の指導が、重要なポイントとなってくることがわかる。それは、鑑賞には、その時だけでなく事前、事後の指導、また実態に応じた継続的な指導が必要であるべきであることを示している。教師自身の研修し発達していく能力も、教えるという思考、行動によって伸びてゆくと思われる。自ら学び、発達していくという意味で、教師の鑑賞指導に対する理解と積極的な姿勢が要求されている。

(2) 美術館における鑑賞の実例

今回の研究にあたり多くの美術館の教育普及活動についての資料の協力を得た。その中の多くは、3章のワークシートの実例でふれるが、鑑賞指導のユニークな試みとして、非常に詳しい資料を送って下さった広島市現代美術館と、学校と美術館の連携という意味で、新しい試みを展開しているセゾン美術館の2例をあげておく。

① 広島市現代美術館

広島市現代美術館で行なっている教育事業のうち、アートゲームとミュージアム・アドベンチャーは、子供に対する鑑賞の方向性を模索している様子が感じ取れ、興味を持った。

◇アートゲーム

作品の前で気軽に楽しめるワークシート・スタイルで、常設展示室に設けられたラックに入れておき、自由に利用できるスタイルをとっている解説シートである。

中学生以上を対象につくられているが、難しく考え込むのではなくゲーム感覚で感性をゆさぶるようにできていておもしろい。ひとつひとつがカード式で好きな作品のアートゲームだけ選ぶことができ、美しい仕上がりになっていて小学校高学年から、以外に大人にも人気が高そうに思える。

◇ミュージアム・アドベンチャー

毎月第2土曜日に常設展示作品を題材に行なう小学生のための鑑賞教室。

会場で作品を前にして、小学生と学芸員との言葉のキャッチボールで、鑑賞の視点を明らかにし深めていくもの。

毎回のやりとりの記録や作品の写真まで資料提供いただいたが、このやりとりの記録のひとつひとつがとてもおもしろい。子供たちの発言をもとに、担当学芸

員の岡本さんは、こういうコメントを送ってくれた。「この試みを始めて比較的早い段階で、美術館が単独で教育事業を行い、それを広く普及していくことは不可能である、ことに気づいた。」と。そこから、ミュージアム・アドベンチャーは、美術館が子供たち（鑑賞の初心者）と直接的にかかわり、その指導方法を探るための実験の場であると位置付けている。

② セゾン美術館 ◇プロジェクト「あそびじゅつ」◇

このプロジェクトは、セゾン美術館で開催されたグッデンハイム美術館名作展一にあわせて企画、実施された。ピカソからポロックまでの約50年間のモダンアートの作品121点を鑑賞し、美術館という空間を体験するもの。

当初、このプログラムは、美術教育に長年の歴史と実績のあるグッデンハイム美術館の教育プログラムに即したワークシートを翻訳し、そしてそれを学校側に提供する方法が考えられたが、この方法では、美術館から学校へ、先生から生徒への一方通行であって、両者の間に相互の働きかけが生まれず、果たして、子供たちが美術館に足を運び、オリジナルの作品を鑑賞する経験に結びつくのだろうかとの危惧から、このプロジェクトが企画された。

「あそびじゅつ」は以下の4点を重視し、その企画を進めている。

ア、目的はあくまで鑑賞であること

イ、テーマはモダンアートであること

ウ、美術を遊ぶということ

エ、学校と美術館の共同プロジェクトであること

今回、上記のエは最も大きな柱となっている。エの内容の展開方法は、

第1ステップ：学校の授業で、鑑賞のための事前のウォーミングアップをする
こと（教材としてアートツーリングとブックレットを作成）

第2ステップ：美術館でオリジナル作品を鑑賞する。

第3ステップ：鑑賞後再び授業の展開につなげる。

学校側として、東京都図画工作研究会が大きくかかわり、生徒の実態に照らし合わせて、「アクティブな教材を」と、関係者での度重なるミーティングから、アートツーリングと称するモダンアートを体験して理解するキット（ひとつのスーツケースにセットされており、事前に希望する学校に貸し出されツーリングするのである）、鑑賞を深めるためのブックレットなどが、立場の違う角度から試行錯誤の中で作成されていく過程は興味深い。

鑑賞形態は2つのフォームがとられ、1つはギャラリートーク、作品を前に、学芸員か教師が解説しながら子供たちと対話するスタイル、もう1つは自由鑑賞型、子供たちひとりひとりが自由に会場を回って鑑賞するもの、これにはそれぞれの教師が熱心に魅力的なワークシートをつくり対応している。

多くの問題と課題を残しながら、学校と美術館が協力し得た1つの方法論となっている。今後への影響は大きいと思われる。

3 ワークシート

(1) ワークシートの実際

① ワークシートの分類

ワークシートの分類

◆形態

- A、シート型 ☐ a. シリーズもの
- ☐ b. 一枚もの
- B、ブック型 ☐ a. シリーズもの
- ☐ b. 一枚もの
- C、折り込み型 ☐ a. シリーズもの
- ☐ b. 一枚もの

◆対象

- A、設定する ☐ a. 個人 ☐ 1 学齢
- ☐ 2 学年
- b. 団体 ☐ 1 学齢
- ☐ 2 学年
- ☐ 3 その他の団体
- B、設定しない

◆使用人数

- A、一人用 ☐
- B、二人用 ☐ a. 学校
- ☐ b. 家族
- ☐ c. その他の団体
- C、団体用 ☐

◆使用場所

- A、館内 ☐ a. 展示室内
- ☐ b. 展示室外
- B、館外 ☐ a. 学校
- ☐ b. 家庭
- ☐ c. 地域

◆配布場所

- A、館内 ☐ a. 受付
- ☐ b. 展示室入口
- ☐ c. 展示案内 ☐ 1 1ヶ所
- ☐ 2 各展示物の前
- ☐ 3 各展示室の入り口
- B、館外 ☐ a. 学校
- ☐ b. 地域

◆配布方法

- A、有料 ☐
- B、無料 ☐ a. 全員に
- ☐ b. 希望者に ☐ 1 手渡し
- ☐ 2 各自で手取る

◆内容

- A、個々の展示物用 ☐ a. ひとつの作品対象
- ☐ b. いくつかの作品対象
- B、展示全体用

◆展示の種類

- A、常設展示用 ☐ a. テーマ有り
- ☐ b. テーマ無し
- B、企画展・特別展用

◆他の活動との連動性

- A、ワークシートのみで活用
- B、他のプログラムと連動 ☐ a. ワークショップ
- ☐ b. ギャラリートーク
- ☐ c. ギャラリーツアー
- ☐ d. 講座 e t c.
- C、他のマテリアルと連動 ☐ a. 解説書
- ☐ b. 指導書
- ☐ c. 他のプログラムの教材 e t c.

◆作業内容

- A、書き込む ☐ a. 設問の答えを書く
- ☐ b. スケッチをする
- ☐ c. 想像を絵や文に表す
- ☐ d. あそび(クロスワード、ぬりえ) e t c.
- B、書き込まない ☐ a. ワークシートを見る・読む
- ☐ b. 設問の答えを考える
- ☐ c. 想像する
- ☐ d. 展示物を探す e. 展示物を観察する
- ☐ f. 他人との対話 g. あそび e t c.

◆指導者

- A、あり ☐ a. 学芸員(ボランティア)
- ☐ b. 保護者
- ☐ c. 教師
- B、なし

◆アフターケア

- A、あり ☐ a. 解答の告知
- ☐ b. 事後指導 ☐ 1 館のプログラム
- ☐ c. 文献等紹介 ☐ 2 学校
- ☐ d. 他のマテリアル ☐ 3 地域の活動
- B、ワークシートのフィードバック ☐ a. その場で
- ☐ b. 後日返却
- C、アンケート調査
- D、なし

① ワークシートの実例

◆愛知県立美術館：ミュージアム・ワークシート

本文12ページのセルフガイドでクリムトの「人生は戦いなり」という作品1点に関するもの。見開きA3の大きなガイドブックで読みやすく、質問をしながら絵の細部に注意を向けていき、この作品を読み説いていくという感じ。

◆静岡県立美術館：ロダンのセルフ・ガイド

「カレーの市民」「考える人」「地獄の門」の3点のセルフ・ガイド。A5サイズ8ページの折畳み式。全体に文字量が多い。クイズ形式も取り入れている。

◆山梨県立美術館：ミレー・セット

大文字、中文字、小文字と3段階に文字が使い分けられている。鑑賞時間に応じて読むところを選べ、情報量も文字の大きさに分かる仕組み。

◆京都国立近代美術館：ジュニア・ガイドブック

小学校高学年から高校生ぐらいを対象にしており、全ページ・カラー印刷会場を巡りながら使用する。全文56ページに及ぶブック形式で幅広い情報が盛り込まれている。

◆東京国立近代美術館：鑑賞カード

中学生向け美術館ガイド・ブック作成のための研究会が、作成している。「近代日本の美術」開催中に来館した小中学生に無料配布されたもの。8枚のカラーカードからなり、裏面にその作品の解説がある。文字の大きさや文章の美しさがポイント。

◆北海道立近代美術館：ワークシート

ワークシートのなかにある顔を会場の作品から探す、などゲーム感覚で楽しめるつくりになっている。

(2) 取り上げる展覧会

今回の題材として、「沖縄近現代美術家展－沖縄戦後美術のながれ－」を取り上げる。

同展は、太平洋戦争・沖縄戦終結50周年事業として沖縄県が主催するもので、「戦前、戦後の恵まれない時代に、絵画を中心とする美術文化の発展に尽力された作家をはじめ現代作家の作品を一堂に集め、その鑑賞を通して県民の情操豊かな人間性を涵養するとともに美術館建設への県民の気運の盛り上げに資すること」を目的としている。

また、この展覧会は平成12年に開館する県立美術館の建設準備にあたっている学芸員スタッフによる企画で、積極的な学校教育と美術館教育の連携をはかる初めての試みでもある。具体的なプログラムとして、企画学芸員と美術科教師の共同研究によるコンピュータ学習プログラムとワークシートの制作が行なわれる。

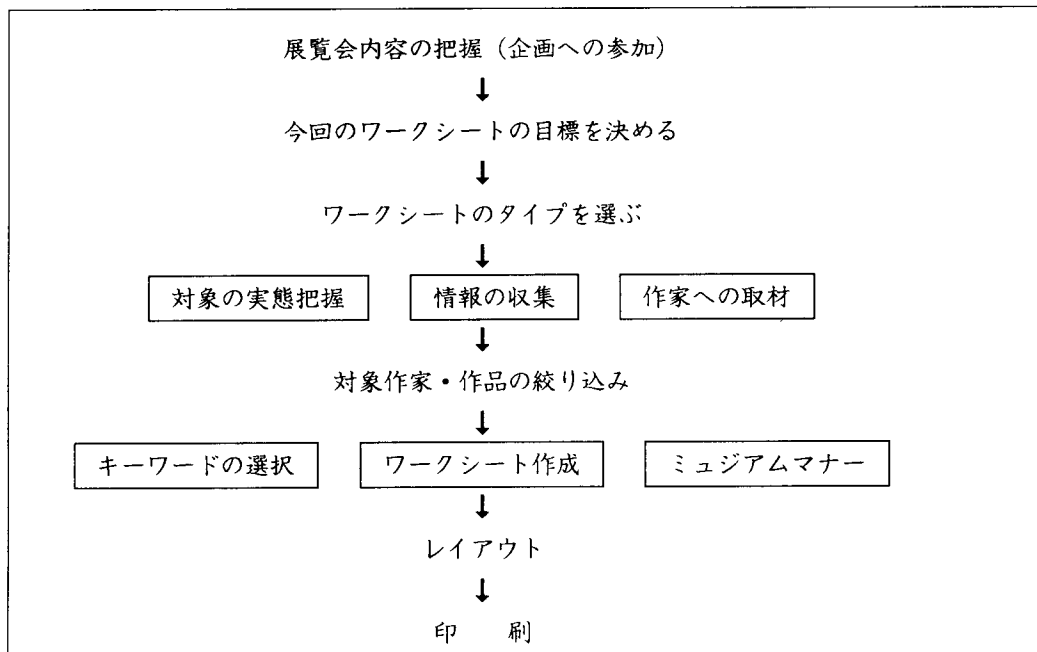
この展覧会を選んだ理由を以下にまとめてみる。

ア、沖縄の美術家の作品を取り上げるので、生徒にとって身近であり、地域文化の理解につながる。

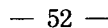
イ、戦後50年の美術の流れを、時代の動きと関連づけて見ていくことで、美術と社会の関わりについて、より深く理解することができる。

ウ、会期が夏休みであり、地域の社会教育施設を主体的に利用する機会となり、自己教育力の育成につながる。

(3) ワークシート作成の手順



(7)



Exhibition of Contemporary Okinawan Artists

ワークシート 沖縄近現代美術家展



「貴方を愛する」ときと憎むとき」という題名の絵です。
この絵を描いた作家の別の絵が、A室にあります。

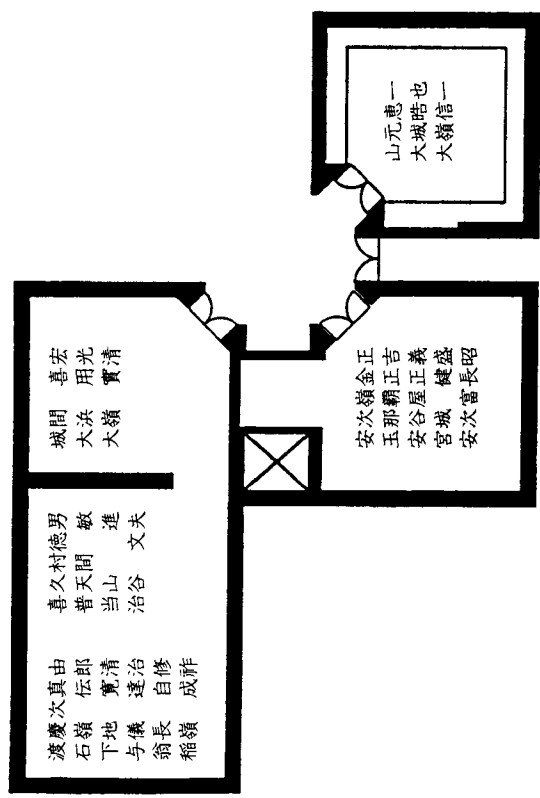
どの作品かわかりますか？

なぜ、その作品だと思ったのですか？

次のページに、この作家のアトリエでの写真があります。
描いた人の顔を想像してみてください。

???

いいですか、思いつくまで、そして次のページを見てください



Part1

1995年8月2日(水)～13日(日)
浦添市美術館

戦後復興期から前衛の芽生え (1950年～1970年代はじめ頃)

- 戦後復興期の美術：モダニズムの前哨 5人展 創斗会
- 啓蒙から前衛へ：グループ耕 亜熱帯派 反芸術グループ
- 前衛から系列へ：団体展

ワークシート 沖縄近現代美術家展

Exhibition of Contemporary Okinawan Artists



どうです、思ったとおりの人でしたか？少し違いましたか？

この作家の名前は山元恵一と言います
どの作品が彼のものであるか、わかりますよね
確かめてみましょう

E5 キーワード

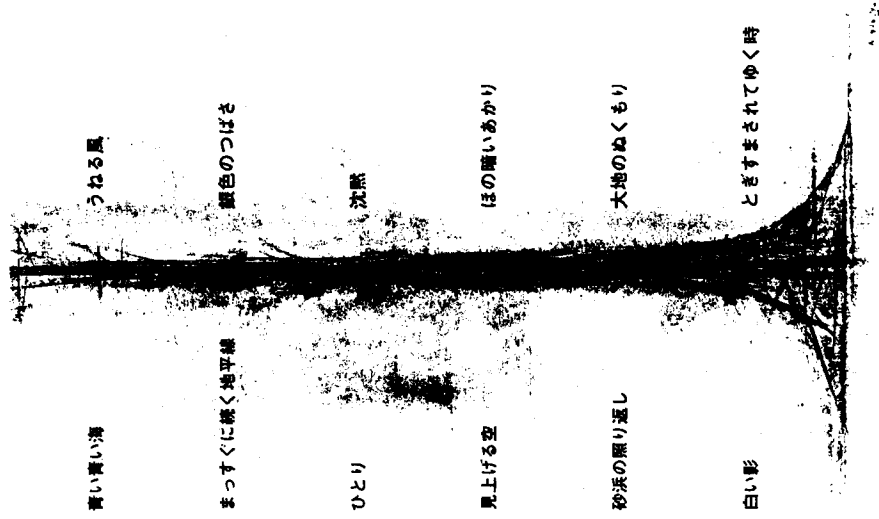
シュールレアリスム

日本語では超現実主義といいます。1920年から1940年代にかけてのフランスで、詩人のアン
ドレ・ブルトンという人を中心に人間の意識の奥に隠された想像力や本能の力を解放し、芸
術の新しい可能性を求める運動が起こりました。
マックス・エルンスト、ホアン・ミロ、サルバドール・ダリ、ルネ・マグリット、マン・レイ、
ポール・デルボーズなどが参加しました。
山元恵一の作品にも見られるように、心理学者のフロイトが明らかにした人間の深層心理、
夢などに現われる無意識の世界を神秘的に描きたそうとしたこの運動は、第二次世界大戦後に
始まる20世紀後半の美術に大きな影響を与えました。

ワークシート 沖縄近現代美術家展

Exhibition of Contemporary Okinawan Artists

B室



作品には手で触れず、心で触れてみましょう。

ミュージアム・マナー1

ワークシート 沖縄近現代美術家展

青い海
まっすぐに続く地平線
うねる風
とぎすまされてゆく時
砂浜の照り返し
ひとり

ほの暗いあたり
緑色のつばさ
大地のぬくもり
沈黙
白い影
見上げる空

安谷麗正さんの「塔」という絵です。この絵からあなたが感じるものに、少しでも近いと思う言葉を上から2つ選んでみてください。
なぜ、その言葉なのか、理由もおしえてください。
詩にしてみてくださいもいいかもしれませんね……

(例) 見上げる空

白い塔を真上げると
そこには沖縄の青い空がある？

ワークシート 沖縄近現代美術家展

B室



キジを喰う男
安次富 長昭

この絵の男について想像してみてください。

1 今、彼はどのような気持ちなのでしょう。

2 彼の職業は何でしょう

3 なぜ、赤い色が使われているのでしょうか。

4 あなたが、この作品で一番気になる部分はどこですか

6

ワークシート 沖縄近現代美術家展
Exhibition of Contemporary Okinawan Artists

ワークシート 沖縄近現代美術家展



(1959年 惨！宮森校にZ機墜落)

(1968年 B52墜落、大機突)

ふたつの悲しい事故をきっかけに生みだされた作品がC室にあります。さかしてみましよう

【室キーワード】

OKINAWA

芸術も社会の動きや問題と決して無縁ではありませんでした。
安次重長郎の「キヒを喰う男」は、アメリカ軍が基地をつくるために行った、農地の強制
収用への抗議の気持ちを込めて描かれた作品です。
城間麗生の「亜熱帯の島から」には、事故を起した軍用機の一部が使われています。
当時のOKINAWAを背景に、様々な感情を込めた作品がOKINAWAの芸術家たちによって、
その後たくさん制作されることとなります。

7

ワークシート 沖縄近現代美術家展
Exhibition of Contemporary Okinawan Artists

ワークシート 沖縄近現代美術家展

ある日、招待状が届きました。
それは少し変わった招待状でした。
私は漫湖の川岸に立ち、
若者たちがたくさん風船を飛ばす
姿を見ました。
怒って帰る人もありましたが、
私は何故か、冬の空の下、
彼らを見つめていました。

(当時の思い出 Y氏)



1969年11月漫湖で
グループNON

この若者たちは、何を見せたいと
思ったのですか？

【室キーワード】

ハプニング・パフォーマンス

1960年代、世界的に古い秩序を破壊しようとする動きが広がります。
美術も、絵画や彫刻作品を展覧会に出品しようという作品発表の方法だけでなく、直接に
観客と交流するハプニング（出来事、事件の意味）や、パフォーマンスと響の代わりに芸術家の
身体を題材にしたボディ・アートなどが表れるようになります。
ハプニングは目撃者である観客もまた、作品の一部や作品を作る参加者であることを意識
します。
芸術家が観客を前にして行う音楽・詩・演劇・ビデオなどを自由に取り込んだ表現活動を
パフォーマンス・アート（人が演じる芸術）といいます。

ミュージアム・マナー3 走るなんて、急ぐ必要はありません。好きな作品の前で、あなたの好きな時間、ただずんでみましょう。

ワークシート 沖繩近現代美術家展

Project Commemorative the 10th Anniversary of the End of Pacific War and the Birth of Okinawa



右の絵は、喜久村徳男の「ソファーの上」という作品です。D室には、彼の別の作品があります。

その絵の前に進んでください
見つかりましたか

さて、床に座っているようなポーズの人は、男の人、女の人、どちらでもない？ どう思いますか？

何歳ぐらいの人だと思いますか？

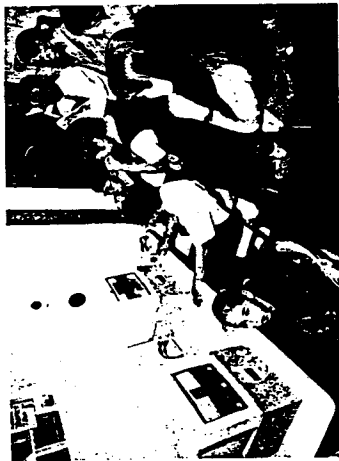
なぜそのような思ったのですか。

この溶けだすような人を描いた作家は、後にもっと人の形をとどめない作風に
変化していきます 彼は描く対象として「人にしか興味が無い」と言っています、

あなたなら、何を描いてみたいですか、

発行：沖縄県 制作：前田 紫（宜野湾市立真志喜中学校教諭）

沖縄戦後美術の流れ展

[illegible][illegible]

初日は、霧が降る曇り空。霧をよきが、相模市東部の山をのぼる。一とき主人

日(22日) 午後11時
 東京府立女子師範 入会

近現代美術 初の体系化

ゲーム感覚で鑑賞

美術学生、生徒らで盛況

浦添市美術館

[illegible]

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.

Ⅳ 指導の実際

1 事前指導

◇ アンケート

7月19日、2年の選択授業（美術）40名を対象に夏休み美術鑑賞の事前指導を行う。

2年の選択授業は、自分から美術を希望した生徒たちではあるが、第1希望から第3希望の者までおり、1組から8組までほとんどのクラスから5人程度の生徒が受けている。これらの生徒の実態はアンケートの結果より以下のとおりである。

Q1：あなたは美術が好きですか。

YES……………85%

NO……………15%

Q2：美術の領域で何が好きですか。

絵 画 ……43%

デ ザ イ ン ……26%

工 芸 ・ 彫 刻 ……9%

鑑 賞 ……9%

な し ……13%



Q3：今までに美術館またはギャラリーなどで絵や彫刻を鑑賞したことはありますか。

YES……………37%

NO……………63%

Q4：好きな、または知っている芸術家の名前を書いてください。

ピカソ、ミケランジェロ、レオナルド・ダ・ヴィンチ
ゴッホ、ラファエロ、ドナテロ、スーラー

以上7人の名前があったが、いずれも、昨年の鑑賞の授業で取り上げた芸術家であり、それ意外の名前はひとりもあがらなかった。

少なからず美術を好きで選択した生徒でも実態はかなりきびしい。

2 展覧会鑑賞

(1) 要項

2年選択美術 夏休み美術鑑賞

◇鑑賞のねらい

1. 教室を飛び出した場での鑑賞を体験し、作品の大きさやいくつもの作品が織り成す雰囲気を感じ取る。
2. 戦後の沖縄の作家の作品に触れ、作品そのものや作家個人を身近に感じ、美術に対する興味を深める。
3. 美術教師自作のワークシートや会場に設置されたコンピュータを利用し、鑑賞の能力を伸ばす手立てとする。

◇鑑賞する展覧会

太平洋戦争・沖縄戦終結50周年事業
「沖縄近現代美術家展」
沖縄戦後美術の流れ
シリーズ1・モダニズムの系譜

◇場 所 浦添市美術館

◇日 程 平成7年8月8日（火）

AM 9:00 集合（真志喜中体育館前）

9:30 出発

10:00 到着（浦添市美術館）

・

鑑賞

・

11:30 出発

12:00 到着（真志喜中）

◇参 加 生徒 真志喜中2年・選択美術（男子17人、女子23人、計40人）

◇引 率 校長 知念繁 教諭 前田紫 喜屋武みつの

(2) 鑑賞の様子

選択授業は8クラスの生徒から成るためクラスとしてのまとまりに欠け、学校出発のときのざわめきが気になったが、美術館に一步入ると、大きな空間のもつ雰囲気に引き込まれたと思え静かになる。

美術館ロビーで10分ほどの説明（特にミュージアムマナー）について行う



その後1時間の鑑賞の時間を与えワークシートを道標にそれぞれが意欲的に鑑賞していた。30分ほどでワークシートを終えた残りの時間、思い思いに椅子に座ったり、好きな作品の前に戻ったり、生徒自身の本来の鑑賞はこの本人たちがすることがないと感じた30分にあったようだ。

V 研究のまとめ

本来、美術鑑賞とは指導要領にあるように、より個性的、主体的な活動であるため、何の束縛もない状態で作品の前で思い思いに佇んで欲しい、いやそうしたいと思うのが私の考え方である。がしかし、今回の研究で語ってきたように、それは鑑賞の能力が多く経験や学習を通してかなり高い人たちにできる本当の意味の鑑賞であって、生徒の実態といえは観るでなくては鑑賞の奥にひそむ蜜の味を知ることもなく、ただ作品の前を通りぬけるしかすべのない者がそのほとんどである。大人も含めてこの人たちに、ただ観れば感じる的な直観的なものだけをいくら示唆したところで、その鑑賞の能力段階は上がってはこない。鑑賞指導というからには、やはりここにワークシートなり何らかのてだてが必要である、との思いから今回以下のような点に自分なりの観点をおき、実際に作成そして展覧会を観に来た人のてだてとして利用してもらった。

- ・最低限のミュージアムマナー及び情報を盛り込むこと。
- ・つくる側の一方的な情報提供に留まらないこと。
(ワークシートを通して作品と対話し主体的な鑑賞へとつながるよう心がける。)
- ・答がひとつではなく、それぞれ違った答が返ってくるようなものであること。
- ・文字情報が過多にならず、ヴィジュアルなワークシートであること。
(視点が文字でなく絵に行くよう誘導したい。)
- ・レイアウトも含めてワークシートそのものがデザイン的に美しいこと。
- ・他教科のワークシート(学習帳)の発想とは、美術鑑賞の持つ目標から考えて、まったく異質なものであること。

鑑賞ワークシートの陥りやすい欠点に、ワークシートを仕上げることに一生懸命になり作品を本当の意味で観ていないことがよくある。今回、主催者側から、ワークシートを手にしたのは小中高生そしてお母さん方が多く、利用しながら、会場に長くいる親子づれが目についたと聞いた。真志喜中の団体見学でも見られたが、ワークシートの道標を利用した後、自由になった生徒たちは思い思いの作品の前に戻った。無意識のようできて、展覧会の大きな流れをつかんだ後にやはり観たい作品があったようだ。

今回の研究で自分の中にたくさんの課題も残った。どの要素も実験的な意味が強いワークシートであったので、美術教師の作るワークシートとして鑑賞のてだての一步を踏み出した気がする。美術教育の中で大きな可能性を秘めたこの領域に多くの人が関心を持ち組織的に取り組んでいけたら、美術を嫌う生徒の数は激減すると心から思う。

〈主な引用・参考文献〉

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| 遠藤友麗著「新学習指導要領の指導事例集 中学校美術科3鑑賞」 | 明治図書 |
| 「日本・ドイツ美術館教育シンポジウムとその行動報告書」 | 日本文教出版 |
| 「ミュージアム・マガジン・ドーム」 | 日本文教出版 |
| 「TATE TRAILS」 | The Tate Gallery Publications, LONDON |
| 「FAMILY GUIDE」 | SEATTLE ART MUSEUM |